

平成30年度

自己評価公表シート

1、本園の教育目標

みずきが丘 道伯幼稚園

幼稚園での集団生活の中で、生涯にわたる人間形成の基礎を学びながら、人間としての健全な発達を図り、大きな能力を身に付けることを目標として、知・徳・体と心身共に調和のとれた人格を育てていく。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育の質の向上に主体的に取り組んでいくことを重点目標とする。

3、本年度評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
①(教育課程・指導) 園の遊具・用具について、各年齢の指導に応じて適切・有効な活用がなされているか。	年齢に合った遊具・用具を使った活動や使い方、活動目標を話し合い、園庭や遊戯室で身体を動かす活動を行ってきた。また、遊具や用具を使って活動をする際には、園児に正しい使い方をきちんと伝え、安全面にも気をつけてきた。
②(保健管理) 日常の健康管理や、疾病予防のための教職員の取組状況、健康診断の実施状況はどうか。	病気の感染を広げないように、園全体で欠席の状況や病状を把握し、園児の体調の変化があれば、保護者と連絡を取るようにした。年間を通して、手洗い・うがいを指導しているが、特に風邪が流行する時期には、密に園児に声をかけ、給食前のうがいの際には、「お茶うがい」を取り入れて感染予防に努めた。また、健康診断を受けた後、保護者に結果を報告し、治療を要する場合は病院で受診をしてもらっている。
③(安全管理) 事故等の緊急事態発生時の対応の状況や、教職員・幼児の対応能力の向上を図るための取り組みはなされているか。	緊急事態を想定しての避難訓練を毎月行っている。また、どのような状況での発生でも、各職員が落ち着いて避難誘導が出来るように、状況設定や時間帯を変えて訓練を行い、園児にも緊急事態発生時に正しく行動できるように、日頃から話しをしている。訓練を行った時には、反省すべき点はなかったか職員間で話し合いをしてきた。
④(資質向上の取組) 教職員が、園の教育目標を理解して、それぞれに目標を立て、自らの指導やサービスを振り返ることにより、資質の向上を図る。(個人)	各職員が担任をする年齢・クラスにおいて、目標を持って日々の保育に取り組んだ。また、毎日の職員間の話し合いの中で、反省点や改善点を話し合い、個々の保育を振り返ることで、努力しなければならないところは見直し、一人ひとりが向上に努めた。